

ぶん 文しょうを よ 読んで、こた 答えを か 書きましょう。

氷こおりが とける

コップに氷こおりを入れて、外そとにおいてみました。朝あさはかたかった氷こおりが、昼ひるには半分はんぶんほどとけていました。氷こおりは水みずがこおったものです。まわりがあたかくなると、また水みずにもどります。温度おんどが高い日ひほど、とけるのが早いはやです。氷こおりの入はいったコップのまわりには、小さちいなつぶがつくことがあります。これは、空気くうきの中なかにある見えない水みずがひやされて、つぶになったものです。氷こおりが消きえても、水みずはなくなりません。

① コップに何なにを入いれて外そとにおきましたか。

氷こおり

② 昼ひるには氷こおりはどのくらいとけていましたか。

半分はんぶんほどとけていました

③ 氷こおりは何なにがこおったのですか。

水みず

④ どんな日ひほどとけるのが早いはやですか。

温度おんどが高い日ひ

⑤ コップのまわりにつく小さちいなつぶは、何なにがひやされてできますか。

空気くうきの中なかにある見えない水みず

